

目標と実績



本社・各工場の目標と実績 (主な活動の抜粋)

経営者の定めた環境方針の達成および環境活動による実績を継続的に改善するため、環境目的・目標を立案し、それぞれの活動の進捗・遂行管理を行い取り組んでいます。

実績は次の活動への参考データとし、より一層の活動推進に取り組みます。

《2022年度環境目標・実績 (抜粋)》

〈達成状況〉 評価内容 計画通りに推移している…◎ 目標に向けて順調に推移している…○ 継続した取り組みを行う…△

		2022年度目標	2022年度実績	達成状況
本社・試作センター	 本社ビル	●エネルギー使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 2.2%削減	◎
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 5.2%増加	△
	 試作センター	●規格外品発生量を、原単位で2021年度比5.0%削減する	原単位 5.8%増加	△
		●輸送エネルギー使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 2.4%増加	△
		●30件の商品包装材の減量化・見直しを行う	38品の減量化、見直しを実施	◎
		●36件の環境対応素材の導入を行う	31件の導入を実施	○
	●品質と収益性の向上を目指した機械開発、導入を行う	6件の機械開発、導入を実施	○	
柏崎工場		●電気、LPG、都市ガスの原油換算量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 5.6%増加	△
		●水道使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 2.5%増加	△
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 7.8%増加	△
		●規格外品発生率を、2021年度比8.0%削減する	発生率 11.2%増加	△
		●工場廃棄物を削減し、リサイクル率を90%以上にする	リサイクル率 92.9%	◎
新潟工場		●電気の使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 11.4%削減	◎
		●重油、LPG、都市ガスの原油換算量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 7.5%削減	◎
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 5.9%増加	△

		2022年度目標	2022年度実績	達成状況
上越工場		●電気の使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 0.3%増加	△
		●LPG使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 1.7%増加	△
		●都市ガス使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 6.7%削減	◎
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 4.7%増加	△
		●規格外品発生率を、2021年度比で8.0%削減する	発生率 0.8%増加	△
長岡工場		●電気、A重油、LPGの原油換算量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 22.8%増加	△
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 23.7%増加	△
		●主力商品における規格外品発生率を2021年度比5.0%削減する	発生率 3.3%増加	△
新潟南工場		●電気、LPG、都市ガスの原油換算量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 0.9%削減	○
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 5.0%削減	◎
村上工場		●電気、A重油、LPGの原油換算量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 3.8%増加	△
		●廃棄物排出量を、原単位で2021年度比3.0%削減する	原単位 1.3%増加	△
新発田工場		●電気の使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 1.4%増加	△
		●LPG使用量を、原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 0.6%増加	△
五泉工場		●全移動用段ボールに対するコンテナ使用比率を35%以上にする	コンテナ使用率 27.4%	△
鶴岡工場		●省エネルギー活動を推進し原単位で2021年度比1.0%削減する	原単位 13.1%削減	◎
		●規格外品発生率を、2021年度比5.0%削減する	発生率 8.3%増加	△